

令和2年度

必修科目に関するシラバス

3

桜井高等学校

令和2年度シラバス

科目:国語総合(現代文)	単位:2(計5)	学科:普通科	学年:1年
教科書:桐原書店「新探求国語総合 現代文・表現編」		補助教材:尚文出版「常用漢字ダブルクリア四訂版」 浜島書店「LT現代文1」	
科目の概要と目標: ・自然や社会、人間について様々な視点から捉えた文章を読み、広い視野で物事を考える態度を身につける。 ・論理的な文章の構成や要旨を的確にとらえる力を身につける。			
単元	学習内容	到達目標	
随想 I	「旅する力」	・各段落の中心を読み取り、筆者の主張を要約できる。	
小説 I	「羅生門」	・主人公の心の動きを読み取り、作品を味わうことができる。	
評論 I	「サイボーグとクローン人間」 「美しさの発見」	・終わり方について、印象をまとめ、感想を述べあう。 ・二項対立型や展開型の展開を理解し、現代社会の問題について考えることができる。	
小説 II	「夢十夜」	・登場人物の人間像などから主題を考えることができる。 ・小説の表現の工夫を味わうことができる。	
短歌と俳句	「短歌十二首」 「俳句十二句」	・短歌や俳句を鑑賞し、味わうことができる。 ・季語を適切に選択し、俳句をつくる。	
評論 II	「経済の論理／環境の倫理」	・論理的なものの考え方に触れ、社会の様々な問題について、筋道を立てて意見を述べることができる。	
評論 III	「わかろうとする姿勢」	・自然と人間との関係について考えを深めることができる。	

令和2年度シラバス

単元	学習内容	到達目標
科目:国語総合(古典)	単位:3(計5)	学科:普通科
教科書:桐原書店「新探求国語総合(古典編)」		補助教材:桐原書店「基礎から学ぶ解析古典文法」三訂版 「基礎から学ぶ解析古典文法演習ノート」「漢文必携」四訂版 「漢文必携チェックノート基本編」 いっずな書店「プロGRESS古文総演習基本編」三訂版
科目の概要と目標: 古典を読むために必要な基礎的な知識を習得する。古典を読む中で、作品に親しみ、ものの見方や考え方を深める。		
《古文》		
説話	「宇治拾遺物語」	歴史的仮名遣いの特徴を理解する。 自立語・付属語の区別ができる。
	「十訓抄」	用言の性質がわかる。 用言以外の自立語について理解する。
随筆	「徒然草」	主語をとらえながら読む。 作者のものの見方に触れる。
日記	「土佐日記」	日記文学の始まりをおさえる。
物語	「伊勢物語」	登場人物の心情を理解する。 歌物語の特徴を理解する。
軍記	「平家物語」	軍記物語の特徴をおさえる。 様々な人間模様にふれる。
和歌と俳諧	「万葉集」 「古今和歌集」「新古今和歌集」 「奥の細道」	和歌集に触れて、リズムに親しむ。 和歌の修辞を知る。 俳諧の世界を理解し、作品を味わう。
《漢文》		
漢文入門	格言	漢文の特徴がわかる。
故事成語	「漁夫之利」 「知音」 「塞翁馬」	訓点の働きがわかる。 書き下し文に直すことができる。 漢文訓読に慣れる。
漢詩	「絶句」など	漢詩の特徴をおさえる。
史伝	「鶏口牛後」 「管鮑之交」 「臥薪嘗胆」	漢文訓読に慣れ、内容を読みとる。 多様な人間模様をとらえる。
思想	「論語」 「孟子」	諸家の思想の特徴を理解する。

令和2年度シラバス

科目: 国語総合	単位: 2	学科: 土木科	学年: 1年
教科書: 大修館書店「新編国語総合 改訂版」		補助教材: 浜島書店「漢字ボックス」	
科目の概要と目標: 様々な文章を読んでいく中で、基礎的な知識を習得する。			
単元	学習内容	到達目標	
《現代文》 感動する心	「ワンダフル・プラネット！」	筆者の考えについて、自分の立場を表明することができる。	
	「メッセージ探しの旅」	言葉の働きや人生について、考えを深めることができる。	
論理をはぐくむ	「人生は『動詞』で変わる」	評論読解の基礎を身につける。	
	「漢字の性格」	筆者の論をとらえる。	
小説を味わう	「羅生門」	文中の表現をもとに、登場人物の感情の機微や心理について指摘することができる。	
文化とことば	「水の東西」	物の見方や考え方を広げる。	
表現の窓	「意見を論理的にまとめよう」	論理的な文章表現ができる。	
《古文》 古文に親しむ	「古典の魅力」	古文読解の基礎を身につける。	
	「沙石集」	古文の文章に親しみ、内容を把握する。	
	「宇治拾遺物語」	古文の文章に親しみ、内容を把握する。	
《漢文》 漢文のとびら	漢文入門	漢文読解の基礎を身につける。	
	格言・故事成語	訓読に慣れる。	

令和2年度シラバス

科目:国語総合	単位:2	学科: 土木科	学年: 2年
教科書:大修館書店「新編 国語総合改訂版」		補助教材: 浜島書店「基点現代文ゼミⅠ」 浜島書店「漢字ボックス」 浜島書店「漢字反復ノート」	
科目の概要と目標: 国語の基礎的な知識の定着を図る。 適切な表現を用いて自分の考えをまとめ、伝える能力を身につける。			
単元	学習内容	到達目標	
《現代文(表現)》	国語表現の基礎知識 作文の基礎 敬語の基礎 要約の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 正しい言葉遣いができる。 作文の基礎を身につける。 敬語の基礎を身につける。 要約の基礎を身につける。 	
《古文》 「徒然草」	古文基礎	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いの読みに習熟する。 作者のものの見方に触れる。 	
《漢文》 漢文のとびら 故事と史話	漢文基礎	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の基礎的な事項を定着させる。 	
《現代文》 論理をはぐくむ	「生きることと食べることの意味」 「コルベ神父」 「何のために「働く」のか」	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を的確にとらえる。 	
《短歌》 詩歌との出会い	短歌10首	<ul style="list-style-type: none"> 短歌の特徴を知り、味わう。 	

令和2年度シラバス

科目:国語総合(現代文)	単位:2	学科:生活環境科	学年:1年
教科書:大修館書店「新編国語総合 改訂版」		補助教材:浜島書店「漢字ボックス」	
科目の概要と目標: 様々な文章を読んでいく中で、基礎的な知識を習得する。			
単元	学習内容	到達目標	
《現代文》			
感動する心	「ワンダフル・プラネット！」 「メッセージ探しの旅」	筆者の考えについて、自分の立場を表明することができる。 言葉の働きや人生について、考えを深めることができる。	
小説を楽しむ	「子供たちの晚餐」	文中の表現をもとに、登場人物の感情の機微や心理について指摘することができる。	
日本語を見つめる	「漢字の性格」	言語の働きについて、筆者の考えを正確に読み取ることができる。	
社会に生きる	「何のために『働く』のか」	筆者の主張を的確に把握し、自らの生活体験と関連させて考えることができる。	
小説を味わう	「羅生門」	表現に即して文学作品の世界を味わいながら語彙力を高め、豊かな言語感覚を養う。	
自然に目を向けて	「生きることと食べることの意味」	各段落の話題の中心を読み取り、筆者の主張を要約できる。	
文化とことば	「水の東西」	評論読解の基礎を身につける。 筆者の論をとらえる。	
読書を広げる	「夢十夜」 「鏡」	筆者の物の見方や考え方に触れる。 自分の感想を持つ。	

令和2年度シラバス

科目: 国語総合(古典)	単位: 2	学科: 生活環境科	学年: 1年
教科書: 大修館書店「新編国語総合 改訂版」		補助教材: エスト出版 「書いておどろく古典文法基礎編」	
<p>科目の概要と目標: 古典を読むために必要な基礎知識を習得し、リズムよく古典の文章を読むことができる。また、文章に親しむ中で、古人の感性や思想、生き方にふれ、ものの見方や考え方を深める。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
《古文》			
説話	「沙石集」 「宇治拾遺物語」	歴史的仮名遣いに慣れ、正しく音読できる。 言葉の意味を確かめ、現代語訳できる。	
随筆	「枕草子」「徒然草」	主語をとらえながら読み、ストーリーをとらえる。 作者のものの見方に触れ、心情を豊かにし、言語感覚を磨くことができる。	
物語	「伊勢物語」	登場人物の心情を理解する。 現代語訳された文章を読み、平安世界を楽しむことができる。	
軍記	「平家物語」	場面が生き生きと伝わる工夫をして音読できる。 平家物語と関連ある現代の作品を調べ、原文と比較できる。	
《漢文》			
漢文入門	格言	漢文の特徴がわかる。 訓点の働きがわかる。	
故事成語	「守株」 「推敲」	書き下し文に直すことができる。 漢文訓読に慣れる。 現代で使用される故事成語を中国史の歴史とともに学び、理解を深める。	
唐詩	「春眠暁を覚えず」	気に入った作品を暗唱することができる。 イラスト入りの文を読むことで、唐詩の世界のイメージを膨らませる。	

令和2年度シラバス

科目: 世界史A	単位: 2	学科: 普通科	学年: 2年 選
教科書: 第一学習社「高等学校 改訂版 世界史A」		補助教材: 浜島書店「プロムナード世界史」 富山県教育委員会「高校生のためのふるさと富山」	
科目の概要と目標: 近現代史を中心に、わが国の歴史と関連づけながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることにより、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
単元	学習内容	到達目標	
第1編 世界史へのいざない 第2編 世界の一体化と日本 ユーラシアの諸文明	東アジア 南アジア 東南アジア 西アジア ヨーロッパ アフリカ アメリカ ユーラシアの海の交流 ユーラシアの陸の交流	15世紀までの東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパ諸文明の特質と、海と陸における交流、生活や宗教などを理解できる。	
結びつく世界と近世の日本	清と東アジア オスマン帝国とサファヴィー朝 大航海時代 ルネサンスと宗教改革 ヨーロッパ主権国家体制の成立	16世紀から18世紀までのヨーロッパ、アジア、アメリカの動向から、世界の一体化への動きと近世の日本の対応を把握できる。	
ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命 ウィーン体制 イタリアとドイツの統一 アメリカ合衆国の膨張	18世紀から19世紀までのヨーロッパ・アメリカ諸国の動向から、工業化と国民国家形成が進行したことを理解できる。	
第3編 地球社会と日本 帝国主義の時代 世界戦争と平和	帝国主義の時代 中国分割の危機と日本 第一次世界大戦 ヴェルサイユ・ワシントン体制 東アジアの民族運動 世界恐慌 ファシズムの台頭 第二次世界大戦	帝国主義の時代から第二次大戦終結までの国際政治の動向と平和の意義を考察できる。	
三つの世界と日本の動向 地球社会への歩みと課題 持続可能な社会への展望	戦後の東アジア 戦後の西アジア・アフリカ 第三世界の台頭 中国の動揺とベトナム戦争 アメリカ合衆国の動揺 冷戦の終結	米ソを中心とする両陣営の対立や日本の動向、第三世界の台頭などを理解し、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える諸問題について考察できる。	

令和2年度シラバス

科目: 日本史A	単位: 2	学科: 普通科	学年: 2年 選
教科書: 第一学習社「高等学校改訂版 日本史A 人・くらし・未来」		補助教材: 浜島書店「プロムナード日本史」	
<p>科目の概要と目標: 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を、我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を養う。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
第1部 私たちの時代と歴史			
第2部 近代の日本と世界	近代への胎動	近代を迎える日本の状況と日本が抱えていた内憂外患について考察する。	
第1章 近代国家の形成と国際関係の推移	明治維新	アヘン戦争とアメリカの登場、開国、開国の影響について考察できる。 尊王攘夷と公議の運動、新秩序の模索と内戦、身分制の廃止と国民の創出、士族反乱の鎮圧について考察できる。	
	近代国家の確立	自由民権運動の展開と憲法制定等に続く立憲政治の展開について考察できる。	
	対外関係の変化 政党政治の展開	日本の政党政治の発展とワシントン体制について考察できる。	
第2章 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢	近代産業の発展と社会運動の展開	日清日露戦争の影響と産業革命を経た日本社会の変容について考察できる。	
	国民生活の変化と文化		
	第一次世界大戦と日本	金融恐慌の発生、世界恐慌と禁輸出解禁、田中内閣外交と内政、満州事変の勃発、日本の国際連盟脱退、政党内閣崩壊、二・二六事件について考察できる。	
	第二次世界大戦と日本	日中戦争の勃発・長期化、第二次世界大戦の勃発、新体制運動、日独伊三国同盟、日米開戦、敗戦への道、ポツダム宣言受諾について考察できる。	
第3部 現代日本と世界	日本の再出発	アメリカによる占領、民主化の推進、新憲法の制定、冷戦のはじまり、占領政策の転換、朝鮮戦争、講和への道、その後の経済成長について考察できる。	
第1章 現代の日本と世界	独立後の政治と対外関係		
第2章 現代日本の国民生活	経済発展と国民生活の変化	冷戦終結後の国際社会の変化と日本の状況について考察できる。	

令和2年度シラバス

単元	学習内容	到達目標
科目: 地理A	単位: 2	学科: 普通科
教科書: 帝国書院「高等学校 新地理A」 帝国書院「新詳高等地図」		学年: 2年 選 補助教材: 「新地理Aノート」
<p>科目の概要と目標: 現代世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p>		
単元	学習内容	到達目標
第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題		
1章 地球儀や地図からとらえる現代社会		
1節 地球上の位置と国家	経度の違いと時差、球面と平面の世界、国家の領域と国境、日本の領域と領土問題	緯度・経度の違いが経済活動に影響を与えていることを知る。国家の領域と国境について問題点を知る。
2節 グローバル化が進む世界	交通・通信・貿易、観光の国際化	交通・通信の発達により国家間の結びつきが変化したことを理解する。
2章 人間生活を取り巻く環境		
1章 人間生活を取り巻く環境		
1節 人々の生活と地形	世界の大地形、小地形と生活	人々の生活に影響を与える自然環境と社会環境について考察する。内的営力と外的営力の影響を受けて、今後も地形は変化し続けるという点を理解する。気候の特徴と人間生活との関わりについて考察する。農業の発達と自給的農業・商業的農業について理解する。さまざまな製品をつくる工業の発達と種類について理解する。
2節 人々の生活と気候	気候帯と生活	
3節 人々の生活と産業・文化	生活を支える世界の農業・工業・文化	
3章 世界の諸地域の生活・文化		
1節 中国の生活・文化	世界各地の自然環境、歴史と社会と民族、農業と工業など産業の変化、日本との結びつき	世界の11地域について、グローバル化に伴う経済や産業、文化における変化など考察する。変化の激しい現代世界の「今」を的確にとらえられるようにする。各地域では、地形や気候、現在の姿を作り上げてきた歴史的背景などを理解する。諸地域の特徴的な生活・文化がどのように形成されてきたのか考察することで、自然環境・社会環境の両面からとらえられるようにする。各地域の具体的な生活・文化のようすなどを理解する。またさまざまな地域と日本との経済や、文化、産業などを通じた交流を考察する。
2節 韓国の生活・文化		
3節 東南アジアの生活・文化		
4節 インドの生活・文化		
5節 中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化		
6節 サハラ以南のアフリカの生活・文化		
7節 ヨーロッパの生活・文化		
8節 ロシアの生活・文化		
9節 アングロアメリカの生活・文化		
10節 ラテンアメリカの生活・文化		
11節 オーストラリアの生活・文化		
4章 地球的課題と私たち		
1節 複雑にからみ合う地球的課題		<ul style="list-style-type: none"> 地球規模で直面している深刻な課題について、どのような地域の特徴があるかを理解する。 地球的課題について、世界の国々がどのように対応しているのか考察する。 地球的課題の背景には、先進国と発展途上国との経済的格差があることを理解する。
2節 世界の環境問題		
3節 世界の資源・エネルギー問題		
4節 世界の人口問題		
5節 世界の食料問題		
6節 世界の都市・居住問題		
第2部 身近な地域の課題		
1章 身近にあるさまざまな地図		身のまわりには、さまざまな一般図と主題図があることを理解する。
2章 日本の自然環境と防災		日本の自然環境がどのような自然災害と結びつくか考察する。
3章 身近な地域の課題と地域調査		身近な地域の課題を考察し、調査方法を理解し、発表方法を習得する。

令和2年度シラバス

科目:世界史B	単位:3	学科:普通科	学年:2年 選
教科書:山川出版社「詳説世界史改訂版」		補助教材:浜島書店「ニューステージ世界史詳覧」 山川出版社「詳説世界史スタンダードテスト」 啓隆社「センター世界史」 富山県教育委員会「高校生のためのふるさと富山」	
科目の概要と目標: 世界の歴史を古代・中世と系統的に学習し、その地域の宗教・文化について理解・考察する。			
単元	学習内容	到達目標	
世界史への扉	気候変動と私たち人類の生活 漂流民のみた世界 砂糖からみた世界の歴史	世界の歴史に対する興味・関心を持つことができる。	
先史の世界	先史の世界	人類の進化と農耕文明の発達について理解できる。	
オリエントと地中海世界	古代オリエント世界 ギリシア世界 ローマ世界	オリエント文明の展開、地中海周辺の都市文明の誕生、ローマ帝国による地中海世界の形成過程を理解できる。	
アジア・アメリカの古代文明	インド古典文明 東南アジアの諸文明 中国の古典文明 南北アメリカ文明	インダス文明に始まる南アジアの国家の発展および宗教や社会制度、中華文明の成立について理解できる。	
内陸アジア世界・ 東アジア世界の形成	草原の遊牧民とオアシスの定住民 北方民族の活動と中国の分裂 東アジア文化圏の形成	遊牧国家の動向、日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程と関係を理解できる。	
イスラーム世界の形成と発展	イスラーム世界の形成 イスラーム世界の発展 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化	アラブ人によるイスラーム帝国の形成と展開、トルコ系民族の活動、イスラームの拡大について理解できる。	
ヨーロッパ世界の形成と発展	西ヨーロッパ世界の成立 東ヨーロッパ世界の成立 西ヨーロッパ中世世界の変容 西ヨーロッパの中世文化	西ヨーロッパの封建社会の成立と変動、キリスト教を基盤とするヨーロッパ世界の形成と展開について理解できる。	
内陸アジア世界・ 東アジア世界の展開	トルコ化とイスラーム化の進展 東アジア諸地域の自立 モンゴルの大帝国	モンゴル帝国の成立と解体、ユーラシア諸地域の交流について理解できる。	
アジア諸地域の繁栄	東アジア世界の動向 清代の中国と隣接諸地域 トルコ・イラン世界の展開 ムガル帝国の興隆と 東南アジア貿易の発展	オスマン・ムガル帝国、明・清帝国などアジア諸地域の動向と社会・文化の特質を理解できる。	
近世ヨーロッパ世界の形成	ヨーロッパ世界の拡大 ルネサンス 宗教改革 主権国家体制の形成	ルネサンス・宗教改革・大西洋世界の形成・主権国家体制の確立など、ヨーロッパ世界の動向を理解できる。	

令和2年度シラバス

科目: 日本史B	単位: 3	学科: 普通科	学年: 2年 選
教科書: 山川出版社「詳説日本史改訂版」		補助教材: 浜島書店「新詳日本史」 山平商会「ポテンシャル日本史 基礎力養成編」 啓隆社「日本史重要語句CheckList」 第一学習社「詳録新日本史史料集成」 山川出版社「日本史用語集」	
<p>科目の概要と目標: 我が国の歴史の展開を世界史的視野に立って総合的に考察させ、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
日本文化のあけぼの	文化のはじまり 農耕社会の成立 古墳とヤマト政権	旧石器文化、縄文文化及び弥生文化、古墳文化、飛鳥文化の特色について理解できる。	
律令国家の形成	飛鳥の朝廷 律令国家への道 平城京の時代 天平文化 平安王朝の形成	律令体制の確立の過程、東アジア世界との交流に着目して、天平文化などの特色について理解できる。	
貴族政治と国風文化	摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士	摂関政治の展開とそれに伴う王朝文化の発展について考察できる。 地方政治の乱れと武士の台頭について考察できる。	
中世社会の成立	院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立 武士の社会 蒙古襲来と幕府の衰退 鎌倉文化	武士の土地支配と公武関係、宋・元とのかかわりに着目して、武家政権の形成過程と鎌倉新仏教など文化に見られる新しい気運について理解できる。	
武家社会の成長	室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場	日明貿易など東アジア世界との交流、庶民の台頭に着目して、産業経済の発展や下剋上など中世社会の多様な展開について理解できる。	
幕藩体制の確立	織豊政権 桃山文化 幕藩体制の成立 幕藩社会の構造	ヨーロッパ世界との接触とその影響、鎖国などその後の対外関係、支配体制と身分制度や儒学の役割、文化の特色に着目して、織豊政権・幕藩体制の特質について理解できる。	
幕藩体制の展開	幕政の安定 経済の発展 元禄文化		

令和2年度シラバス

単元	学習内容	到達目標
科目: 地理B	単位: 3	学科: 普通科
教科書: 帝国書院 「新詳地理B」 帝国書院 「新詳高等地図」		学年: 2年 選 補助教材: 「新詳地理資料」 「ウィニングコンパス地理の整理と演習」 「新地理の研究」
<p>科目の概要と目標: 世界の人々の生活の地域的特色を、自然環境と社会環境の関わりにおいて理解させ、現代社会に対する地理的認識を養う。</p>		
単元	学習内容	到達目標
第 I 部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図 1節 地図の発達 2節 地図の種類とその利用 3節 地理情報の地図化 2章 地図の活用と地域調査	地球儀とさまざまな地図、時差の求め方 一般図と主題図 地域調査の方法	・各時代の世界観を捉え、現代の地図の有用性に気づく。・地図の種類とその利用について理解する。・時差の求め方を通して、地理的事象を捉える技能を身につける。・地図の活用と地域調査の方法を理解する。
第 II 部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1節 世界の地形 2節 世界の気候 3節 日本の自然の特徴と人々の生活 4節 環境問題	世界の大地形、小地形 気候の成り立ちと気候区分、植生、土壌 日本の気候、地形、自然災害 世界と日本の環境問題、環境問題の現状と対策	・地形と生活の関わりや多様性や地域性を大観し、系統地理的にとらえる視点や方法を理解し、知識を身につける。・地形の特徴と人間生活への影響の多様性や地域性を理解する。 ・気候と生活に関する情報を地理的に追求する技能を身につける。・気候の成因や各気候区の特徴と生活への影響についての知識を身につける。・日本の地形や気候と自然災害の特徴について理解する。 ・環境問題の成因・特徴・対策を大観し、特に地球温暖化・森林破壊・砂漠化について事例を考察する。
2章 資源と産業 1節 世界の農林水産業 2節 食糧問題 3節 世界のエネルギー・鉱産資源 4節 資源・エネルギー問題 5節 世界の工業 6節 第3次産業 7節 世界を結ぶ交通・通信 8節 現代世界の貿易と経済圏	世界の農業地域区分と現状・課題 食糧問題の現状・課題 利用と分布 資源・エネルギー問題の現状・課題 工業地域と工業の現状・課題 第3次産業と発達、観光業 世界の交通網と情報・通信 世界、日本の貿易の現状・課題	・農産物の生産・流通を農業地域区分を通して大観し、世界と日本農業の現状・課題を考察する。 ・エネルギー・鉱産資源の生産と消費の多様性を理解する。 ・工業製品の生産・流通の地域性を大観する。 ・世界の工業地域を大観し、工業の現状・課題を考察する。 ・第3次産業の発展と、観光業の特徴を考察する。 ・交通・通信の発達による一体化と地域差を考察する。 ・世界の中での日本貿易の現状・課題を考察する。
第3章 人口、村落・都市 1節 世界の人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題	世界の人口分布・増加 世界の各地域の人口問題 村落と都市の形態・機能・生活 世界と日本の都市・居住問題	・世界人口の分布特徴、人口動態、人口構成と人口転換を考察する。 ・発展途上国と先進国の人口問題を考察する。 ・都市と村落の立地・発達・機能の特徴を考察する。 ・都市問題の要因と解決方法を理解する。
4章 生活文化、民族・宗教 1節 世界の衣食住 2節 民族と宗教 3節 現代世界の国家 4節 民族・領土問題	生活文化の地域的差異 世界の民族・言語・宗教 領域・国境・主権 世界の民族・領土問題、民族・領土からとらえた日本、民族と宗教の共生に向けての課題	・地域的差異を大観し、衣食住と社会のかかわり、日本の衣食住の変化を考察する。 ・民族・宗教・言語のかかわりと特徴を理解する。 ・領域・国境のきまりや、国家の分類を理解する。 ・現代世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族・領土問題と世界各地の民族の共生についての課題を考察する。

令和2年度シラバス

科目: 世界史B	単位: 文4	学科: 普通科	学年: 3年 選
教科書: 山川出版社「詳説世界史改訂版」		補助教材: 「ニューステージ世界史詳覧」 「詳説世界史スタンダードテスト」 「センター世界史」	
<p>科目の概要と目標: 近現代史を中心に世界史的な視野に立ち、各国の歴史、文化を考察させる。また2年時に学習した古代中世の歴史とつなげしっかりと歴史観を養う。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
近世ヨーロッパ世界の展開	重商主義と啓蒙専制主義 ヨーロッパ諸国の海外進出 17～18世紀ヨーロッパの文化	ヨーロッパの主権国家体制と海外進出、および社会と文化について把握できる。	
近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命とナポレオン	産業革命と大西洋世界での政治的変容について理解できる。	
欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制の成立 ヨーロッパの再編 南北アメリカの発展 19世紀欧米の文化	ヨーロッパでの自由主義・国民主義の高まりや国民国家の形成、アメリカの工業化の進展について理解できる。	
アジア諸地域の動揺	オスマン帝国支配の動揺 南アジアの植民地化 東アジアの激動	アジア諸帝国の支配体制の動揺とヨーロッパの進出による植民地化、それに対抗する主体的な動きについて理解できる。	
帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義と列強の展開 世界分割と列強対立 アジア諸国の改革	企業・国家の巨大化と帝国主義諸国の抗争、アジア・アフリカの対応について理解できる。	
二つの世界大戦	第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制 アジア・アフリカの民族運動 世界恐慌とファシズム 第二次世界大戦	第一次世界大戦、ソヴィエト連邦の成立、世界恐慌とファシズム、第二次世界大戦など国際社会の動向と平和の意義について理解できる。	
冷戦と第三世界の独立	戦後世界秩序の形成 米ソ冷戦の激化 第三世界の台頭 石油危機と世界経済の再編	米ソを中心とする両陣営の対立、第三世界の台頭、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える諸問題について理解できる。	
現代の世界	社会主義世界の変容 途上国の民主化 地域紛争の激化 現代文明の諸特徴	冷戦の終結と多極化、地域紛争、環境や資源・エネルギーを巡る問題について考察できる。	

令和2年度シラバス

科目: 日本史B	単位: 文4	学科: 普通科	学年: 3年 選
教科書: 山川出版社「詳説日本史改訂版」		補助教材: 浜島書店「新詳日本史」 山平商会「ポテンシャル日本史 基礎力養成編」 啓隆社「日本史重要語句CheckList」 第一学習社「詳録新日本史史料集成」 山川出版社「日本史用語集」	
科目の概要と目標: 我が国の歴史の展開を世界史的視野に立って総合的に考察させ、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。			
単元	学習内容	到達目標	
幕藩体制の動揺	幕政の改革 幕府の衰退 化政文化	幕藩体制の動揺と近代化の基盤の形成について理解できる。	
近代国家の成立	開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立と日清戦争 日露戦争と国際関係 近代産業の発展 近代文化の発達	我が国の近代化の推進について考察できる。 我が国の立憲国家としての展開に考察できる。 近代産業の発展と近代文化の特色について考察できる。	
近代日本とアジア	第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 市民文化 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦	第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察できる。 政党の役割と政治や社会運動の動向及び文化の特色について考察できたか。 対外政策の推移と戦時体制の強化など第二次世界大戦と日本の関わりについて考察できる。	
占領下の日本	占領と改革 冷戦の開始と講和	アメリカによる占領、民主化の推進と改革、冷戦の始まりと占領政策の転換、朝鮮戦争と講和について考察できる。	
高度成長の時代	55年体制 経済復興から高度成長へ	戦後の経済復興、技術革新と高度経済成長、経済の国際化について考察できる。	
激動する世界と日本	経済大国への道 冷戦終結と日本社会の動揺	現代世界の動向と日本の課題及び役割について考察できる。	

令和2年度シラバス

科目：地理B	単位：理2	学科：普通科	学年：3年 理
教科書：帝国書院 「新詳地理B」 帝国書院 「新詳高等地図」		補助教材：「新詳地理資料」 「ウィニングコンパス地理の整理と演習」 「新地理Bの研究」	
<p>科目の概要と目標： 現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
1節 世界の人口	世界の人口分布・増加	・世界人口の分布特徴、人口動態、人口構成と人口転換を考察する。	
2節 人口問題	世界の各地域の人口問題	・発展途上国と先進国の人口問題を考察する。	
3節 村落と都市	村落と都市の形態・機能・生活	・都市と村落の立地・発達・機能の特徴を考察する。	
4節 都市・居住問題	世界と日本の都市・居住問題	・都市問題の要因と解決方法を理解する。	
4章 生活文化、民族・宗教		地域的差異を大観し、衣食住と社会のかかわり、日本の衣食住の変化を考察する。	
1節 生活文化	衣食住の多様性と画一化	民族・宗教・言語のかかわりと特徴を理解する。	
2節 民族と宗教	多様な民族と文化	領域・国境のきまりや、国家の分類を理解する。	
3節 現代世界の国家	領域・国境・主権	民族・領土問題を大観し、日本の民族・領土問題と世界の民族の共生についての課題を考察する。	
4節 民族・領土問題	紛争の現状		
第Ⅲ部 現代世界の地域区分	地域区分とは何か	さまざまな地域区分の方法と、地域区分の意義について理解を深める。	
1章 現代世界の地域区分	地域区分のスケール		
2章 現代世界の諸地域			
1節 地誌の考察方法	自然・文化・形式による区分	地域区分の指標について理解する。	
2節 東アジア	変化に富んだ地形と気候 中国と朝鮮半島	近隣諸国の生活に対する関心を高め、異文化を尊重することの必要性、交流について積極的に考えようとする。	
3節 東南アジア	モンスーンの影響を受ける東南アジア 多様性に富む文化・民族	東南アジアの地域の多様性について、基本的な事柄や追究の方法を理解する。	
4節 南アジア	3区分される南アジア インドの変化	この地域の言語・宗教の多様性と伝統的な価値観を知るとともに、都市部での急速な生活の変化を考察する。	
5節 西アジアと中央アジア	2つの地域の自然 イスラームの影響	西アジア・中央アジアの地理的事象について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、知識を身に付ける。	
6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ	2つの地域の気候と植生 人々の生活の変化	対照的な2つの地域を比較し、共通性と特殊性を考察する。あわせてこの地域が抱える問題を知る。	
7節 ヨーロッパ	温暖な気候と安定した大地 結びつくヨーロッパ	ヨーロッパの国を越えたまとまりを地誌的に理解し、地誌的に捉える方法や知識を身に付ける。	
8節 ロシア	広大な国土と多様な自然 様変わりしたロシア産業	ロシアの歴史と社会の変化を考察し、極東と日本の結びつきについて知る。	
9節 アングロアメリカ	異なる自然環境 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国の成り立ちを理解し、世界の中のアメリカ合衆国の位置について考察する。	
10節 ラテンアメリカ	南北と標高で異なる自然	この地域の生活・産業が過去の歴史と密接に結びついていることを知り、ヨーロッパの影響を知る。	
3章 現代世界と日本	安定成長期の日本 日本の地理的諸課題	環境問題、資源・エネルギー問題、食糧問題、人口問題、民族問題、領土問題など諸問題について考察する。	

令和2年度シラバス

科目:世界史A	単位:2	学科:土木科	学年:2年
教科書:第一学習社「高等学校 改訂版 世界史A」		補助教材:浜島書店「プロムナード世界史」 富山県教育委員会「高校生のためのふるさと富山」	
<p>科目の概要と目標: 近現代史を中心に、わが国の歴史と関連づけながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることにより、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
第1編 世界史へのいざない 第2編 世界の一体化と日本 ユーラシアの諸文明	東アジア 南アジア 東南アジア 西アジア ヨーロッパ アフリカ アメリカ ユーラシアの海の交流 ユーラシアの陸の交流	15世紀までの東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパ諸文明の特質と、海と陸における交流、生活や宗教などを理解できる。	
結びつく世界と近世の日本	清と東アジア オスマン帝国とサファヴィー朝 大航海時代 ルネサンスと宗教改革 ヨーロッパ主権国家体制の成立	16世紀から18世紀までのヨーロッパ、アジア、アメリカの動向から、世界の一体化への動きと近世の日本の対応を把握できる。	
ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命 ウィーン体制 イタリアとドイツの統一 アメリカ合衆国の膨張	18世紀から19世紀までのヨーロッパ・アメリカ諸国の動向から、工業化と国民国家形成が信仰したことを理解できる。	
第3編 地球社会と日本 帝国主義の時代 世界戦争と平和	帝国主義の時代 中国分割の危機と日本 第一次世界大戦 ヴェルサイユ・ワシントン体制 東アジアの民族運動 世界恐慌 ファシズムの台頭 第二次世界大戦	帝国主義の時代から第二次大戦終結までの国際政治の動向と平和の意義を考察できる。	
三つの世界と日本の動向 地球社会への歩みと課題 持続可能な社会への展望	戦後の東アジア 戦後の西アジア・アフリカ 第三世界の台頭 中国の動揺とベトナム戦争 アメリカ合衆国の動揺 冷戦の終結	米ソを中心とする両陣営の対立や日本の動向、第三世界の台頭などを理解し、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える諸問題について考察できる。	

令和2年度シラバス

科目:世界史A	単位:2	学科:生活環境科	学年:2年
教科書:第一学習社「高等学校 改訂版 世界史A」		補助教材:浜島書店「プロムナード世界史」 富山県教育委員会「高校生のためのふるさと富山」	
<p>科目の概要と目標: 近現代史を中心に、わが国の歴史と関連づけながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることにより、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
第1編 世界史へのいざない 第2編 世界の一体化と日本 ユーラシアの諸文明	東アジア 南アジア 東南アジア 西アジア ヨーロッパ アフリカ アメリカ ユーラシアの海の交流 ユーラシアの陸の交流	15世紀までの東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパ諸文明の特質と、海と陸における交流、生活や宗教などを理解できる。	
結びつく世界と近世の日本	清と東アジア オスマン帝国とサファヴィー朝 大航海時代 ルネサンスと宗教改革 ヨーロッパ主権国家体制の成立	16世紀から18世紀までのヨーロッパ、アジア、アメリカの動向から、世界の一体化への動きと近世の日本の対応を把握できる。	
ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命 ウィーン体制 イタリアとドイツの統一 アメリカ合衆国の膨張	18世紀から19世紀までのヨーロッパ・アメリカ諸国の動向から、工業化と国民国家形成が信仰したことを理解できる。	
第3編 地球社会と日本 帝国主義の時代 世界戦争と平和	帝国主義の時代 中国分割の危機と日本 第一次世界大戦 ヴェルサイユ・ワシントン体制 東アジアの民族運動 世界恐慌 ファシズムの台頭 第二次世界大戦	帝国主義の時代から第二次大戦終結までの国際政治の動向と平和の意義を考察できる。	
三つの世界と日本の動向 地球社会への歩みと課題 持続可能な社会への展望	戦後の東アジア 戦後の西アジア・アフリカ 第三世界の台頭 中国の動揺とベトナム戦争 アメリカ合衆国の動揺 冷戦の終結	米ソを中心とする両陣営の対立や日本の動向、第三世界の台頭などを理解し、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える諸問題について考察できる。	

令和2年度シラバス

科目: 日本史A	単位: 2	学科: 土木科	学年: 3年 選
教科書: 第一学習社「高等学校改訂版 日本史A 人・くらし・未来」		補助教材: 浜島書店「プロムナード日本史」	
<p>科目の概要と目標: 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を、我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を養う。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
第1部 私たちの時代と歴史			
第2部 近代の日本と世界 第1章 近代国家の形成と国際関係の推移	近代への胎動 明治維新 近代国家の確立 対外関係の変化 政党政治の展開	近代を迎える日本の状況と日本が抱えていた内憂外患について考察する。 アヘン戦争とアメリカの登場、開国、開国の影響について考察できる。 尊王攘夷と公議の運動、新秩序の模索と内戦、身分制の廃止と国民の創出、士族反乱の鎮圧について考察できる。 自由民権運動の展開と憲法制定等に続く立憲政治の展開について考察できる。 日本の政党政治の発展とワシントン体制について考察できる。	
第2章 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢	近代産業の発展と社会運動の展開 国民生活の変化と文化 第一次世界大戦と日本 第二次世界大戦と日本	日清日露戦争の影響と産業革命を経た日本社会の変容について考察できる。 金融恐慌の発生、世界恐慌と禁輸出解禁、田中内閣外交と内政、満州事変の勃発、日本の国際連盟脱退、政党内閣崩壊、二・二六事件について考察できる。 日中戦争の勃発・長期化、第二次世界大戦の勃発、新体制運動、日独伊三国同盟、日米開戦、敗戦への道、ポツダム宣言受諾について考察できる。	
第3部 現代日本と世界 第1章 現代の日本と世界	日本の再出発 独立後の政治と対外関係	アメリカによる占領、民主化の推進、新憲法の制定、冷戦のはじまり、占領政策の転換、朝鮮戦争、講和への道、その後の経済成長について考察できる。	
第2章 現代日本の国民生活	経済発展と国民生活の変化	冷戦終結後の国際社会の変化と日本の状況について考察できる。	

令和2年度シラバス

単元	学習内容	到達目標
科目:地理A	単位:2	学科:土木科
教科書:帝国書院「高等学校 新地理A」 帝国書院「新詳高等地図」		学年:3年 選 補助教材:「新地理Aノート」
<p>科目の概要と目標: 現代世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p>		
第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題		
1章 地球儀や地図からとらえる現代社会		
1節 地球上の位置と国家	経度の違いと時差、球面と平面の世界、国家の領域と国境、日本の領域と領土問題	緯度・経度の違いが経済活動に影響を与えていることを知る。国家の領域と国境について問題点を知る。
2節 グローバル化が進む世界	交通・通信・貿易、観光の国際化	交通・通信の発達により国家間の結びつきが変化したことを理解する。
2章 人間生活を取り巻く環境		
1章 人間生活を取り巻く環境		
1節 人々の生活と地形	世界の大地形、小地形と生活	人々の生活に影響を与える自然環境と社会環境について考察する。内的営力と外的営力の影響を受けて、今後も地形は変化し続けるという点を理解する。気候の特徴と人間生活との関わりについて考察する。農業の発達と自給的農業・商業的農業について理解する。さまざまな製品をつくる工業の発達と種類について理解する。
2節 人々の生活と気候	気候帯と生活	
3節 人々の生活と産業・文化	生活を支える世界の農業・工業・文化	
3章 世界の諸地域の生活・文化		
1節 中国の生活・文化	世界各地の自然環境、歴史と社会と民族、農業と工業など産業の変化、日本との結びつき	世界の11 地域について、グローバル化に伴う経済や産業、文化における変化など考察する。変化の激しい現代世界の「今」を的確にとらえられるようにする。各地域では、地形や気候、現在の姿を作り上げてきた歴史的背景などを理解する。諸地域の特徴的な生活・文化がどのように形成されてきたのか考察することで、自然環境・社会環境の両面からとらえられるようにする。各地域の具体的な生活・文化のようすなどを理解する。またさまざまな地域と日本との経済や、文化、産業などを通じた交流を考察する。
2節 韓国の生活・文化		
3節 東南アジアの生活・文化		
4節 インドの生活・文化		
5節 中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化		
6節 サハラ以南のアフリカの生活・文化		
7節 ヨーロッパの生活・文化		
8節 ロシアの生活・文化		
9節 アングロアメリカの生活・文化		
10節 ラテンアメリカの生活・文化		
11節 オーストラリアの生活・文化		
4章 地球的課題と私たち		
1節 複雑にからみ合う地球的課題		<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模で直面している深刻な課題について、どのような地域の特徴があるかを理解する。 ・地球的課題について、世界の国々がどのように対応しているのか考察する。 ・地球的課題の背景には、先進国と発展途上国との経済的格差があることを理解する。
2節 世界の環境問題		
3節 世界の資源・エネルギー問題		
4節 世界の人口問題		
5節 世界の食料問題		
6節 世界の都市・居住問題		
第2部 身近な地域の課題		
1章 身近にあるさまざまな地図		身のまわりには、さまざまな一般図と主題図があることを理解する。
2章 日本の自然環境と防災		日本の自然環境がどのような自然災害と結びつくか考察する。
3章 身近な地域の課題と地域調査		身近な地域の課題を考察し、調査方法を理解し、発表方法を習得する。

令和2年度シラバス

科目: 日本史A	単位: 2	学科: 生活環境科	学年: 3年 選
教科書: 第一学習社「高等学校改訂版 日本史A 人・くらし・未来」		補助教材: 浜島書店「プロムナード日本史」	
<p>科目の概要と目標: 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を、我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を養う。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
第1部 私たちの時代と歴史			
第2部 近代の日本と世界 第1章 近代国家の形成と国際関係の推移	近代への胎動 明治維新 近代国家の確立 対外関係の変化 政党政治の展開	<p>近代を迎える日本の状況と日本が抱えていた内憂外患について考察する。</p> <p>アヘン戦争とアメリカの登場、開国、開国の影響について考察できる。</p> <p>尊王攘夷と公議の運動、新秩序の模索と内戦、身分制の廃止と国民の創出、士族反乱の鎮圧について考察できる。</p> <p>自由民権運動の展開と憲法制定等に続く立憲政治の展開について考察できる。</p> <p>日本の政党政治の発展とワシントン体制について考察できる。</p>	
第2章 近代産業の発展と 両大戦をめぐる 国際情勢	近代産業の発展と社会 運動の展開	日清日露戦争の影響と産業革命を経た日本社会の変容について考察できる。	
	国民生活の変化と文化 第一次世界大戦と日本	金融恐慌の発生、世界恐慌と禁輸出解禁、田中内閣外交と内政、満州事変の勃発、日本の国際連盟脱退、政党内閣崩壊、二・二六事件について考察できる。	
	第二次世界大戦と日本	日中戦争の勃発・長期化、第二次世界大戦の勃発、新体制運動、日独伊三国同盟、日米開戦、敗戦への道、ポツダム宣言受諾について考察できる。	
第3部 現代日本と世界 第1章 現代の日本と世界	日本の再出発 独立後の政治と対外関係	アメリカによる占領、民主化の推進、新憲法の制定、冷戦のはじまり、占領政策の転換、朝鮮戦争、講和への道、その後の経済成長について考察できる。	
第2章 現代日本の国民生活	経済発展と国民生活の変化	冷戦終結後の国際社会の変化と日本の状況について考察できる。	

令和2年度シラバス

科目: 地理A	単位: 2	学科: 生活環境科	学年: 3年 選
教科書: 帝国書院 「高等学校 新地理A」 帝国書院 「新詳高等地図」		補助教材: 「新地理Aノート」	
<p>科目の概要と目標: 現代世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題 1章 地球儀や地図からとらえる現代社会 1節 地球上の位置と国家 2節 グローバル化が進む世界 2章 人間生活を取り巻く環境 1章 人間生活を取り巻く環境 1節 人々の生活と地形 2節 人々の生活と気候 3節 人々の生活と産業・文化	経度の違いと時差、球面と平面の世界、国家の領域と国境、日本の領域と領土問題 交通・通信・貿易、観光の国際化 世界の大地形、小地形と生活 気候帯と生活 生活を支える世界の農業・工業・文化	緯度・経度の違いが経済活動に影響を与えていることを知る。 国家の領域と国境について問題点を知る。 交通・通信の発達により国家間の結びつきが変化したことを理解する。 人々の生活に影響を与える自然環境と社会環境について考察する。内的営力と外的営力の影響を受けて、今後も地形は変化し続けるという点を理解する。気候の特徴と人間生活との関わりについて考察する。農業の発達と自給的農業・商業的農業について理解する。さまざまな製品をつくる工業の発達と種類について理解する。	
3章 世界の諸地域の生活・文化 1節 中国の生活・文化 2節 韓国の生活・文化 3節 東南アジアの生活・文化 4節 インドの生活・文化 5節 中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化 6節 サハラ以南のアフリカの生活・文化 7節 ヨーロッパの生活・文化 8節 ロシアの生活・文化 9節 アングロアメリカの生活・文化 10節 ラテンアメリカの生活・文化 11節 オーストラリアの生活・文化	世界各地の自然環境、歴史と社会と民族、農業と工業など産業の変化、日本との結びつき	世界の11地域について、グローバル化に伴う経済や産業、文化における変化など考察する。変化の激しい現代世界の「今」を的確にとらえられるようにする。各地域では、地形や気候、現在の姿を作り上げてきた歴史的背景などを理解する。諸地域の特徴的な生活・文化がどのように形成されてきたのか考察することで、自然環境・社会環境の両面からとらえられるようにする。各地域の具体的な生活・文化のようすなどを理解する。またさまざまな地域と日本との経済や、文化、産業などを通じた交流を考察する。	
4章 地球的課題と私たち 1節 複雑にからみ合う地球的課題 2節 世界の環境問題 3節 世界の資源・エネルギー問題 4節 世界の人口問題 5節 世界の食料問題 6節 世界の都市・居住問題		<ul style="list-style-type: none"> 地球規模で直面している深刻な課題について、どのような地域的特徴があるかを理解する。 地球的課題について、世界の国々がどのように対応しているのか考察する。 地球的課題の背景には、先進国と発展途上国との経済的格差があることを理解する。 	
第2部 身近な地域の課題 1章 身近にあるさまざまな地図 2章 日本の自然環境と防災 3章 身近な地域の課題と地域調査		<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりには、さまざまな一般図と主題図があることを理解する。 日本の自然環境がどのような自然災害と結びつくか考察する。 身近な地域の課題を考察し、調査方法を理解し、発表方法を習得する。 	

令和2年度シラバス

科目:現代社会	単位:2	学科:普通科	学年:1年
教科書:東京書籍「現代社会」		補助教材: 富山県教育委員会「高校生のためのふるさと富山」	
科目の概要と目標: 現代の社会と人間についての理解を深めさせ、人間としての在り方生き方について考える基礎を養い、良識ある公民としての能力と態度を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標	
わたしたちの生きる社会	地球環境と資源・エネルギー 科学技術の発達と生命 情報化の進展と生活	地球環境問題について多面的に考察する。 医療技術の発達が生命倫理の課題をもたらしていることを理解する。 情報化の進展が生活や社会の変化に及ぼした影響を理解する。	
日本国憲法と民主政治	基本的人権の確立 世界の政治体制 日本国憲法と三つの原理 国会と立法 内閣と行政 裁判所と司法 地方自治 世論と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> 基本的人権を獲得するまでの経緯について、把握できる。 日本国憲法の基本原理を理解している。 日本の政治機構について理解し、政治に積極的に参加しようとする態度を育てる。 	
現代社会と法	法の働き 社会生活と法 司法と人権	<ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割を理解する。 人間の尊厳と平等などを考察するなかで、他者と共に生きる倫理について自覚を深める。 	
現代の経済と国民福祉	経済社会の変容 現代の企業 市場経済のしくみ 国民所得と経済成長 金融のしくみと働き 政府の役割と財政 戦後の日本経済 産業構造の転換と国際経済環境の変化 自立した消費者への道 現代の雇用・労働問題 社会保障の役割 環境保全と循環型社会	<ul style="list-style-type: none"> 経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。 市場経済について理解する。 市場経済について理解している。 価格の働きを理解している。 政府と金融機関が経済に及ぼす働きと今日的課題を考察できる。 戦後の日本経済の変化を理解し、今日的課題である環境問題、雇用問題、消費者問題などについて関心を持ち、それらをふまえて自分の生き方、あり方を考えることができる。 	
国際社会と人類の課題	国際政治のしくみと動向 国際経済のしくみと動向 国際社会の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の課題について理解する。 国際社会における日本の役割について考察する。 	
青年期と自己形成の課題	現代社会の特質 自己形成と社会とのかかわり 哲学と人間 宗教と人間 近代科学の考え方 日本の伝統思想の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 真の豊かさとは何か多面的、総合的に考察することができる。 様々な価値観の存在を理解する。 人として生まれてきて、自分が果たす役割(存在証明)について思いを巡らすことができる。 	
ともに生きる社会をめざして	現代社会の課題	現代社会の諸課題について理解を深める。	

令和2年度シラバス

科目:現代社会	単位:2	学科:土木科	学年:1年
教科書:東京書籍「現代社会」		補助教材: 東京書籍「現代社会 ワークノート」 富山県教育委員会「高校生のためのふるさと富山」	
科目の概要と目標: 現代の社会と人間についての理解を深めさせ、人間としての在り方生き方について考える基礎を養い、良識ある公民としての能力と態度を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標	
わたしたちの生きる社会	地球環境と資源・エネルギー 科学技術の発達と生命 情報化の進展と生活	地球環境問題について多面的に考察する。 医療技術の発達が生命倫理の課題をもたらしていることを理解する。 情報化の進展が生活や社会の変化に及ぼした影響を理解する。	
日本国憲法と民主政治	基本的人権の確立 世界の政治体制 日本国憲法と三つの原理 国会と立法 内閣と行政 裁判所と司法 地方自治 世論と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> 基本的人権を獲得するまでの経緯について、把握できる。 日本国憲法の基本原理を理解している。 日本の政治機構について理解し、政治に積極的に参加しようとする態度を育てる。 	
現代社会と法	法の働き 社会生活と法 司法と人権	<ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割を理解する。 人間の尊厳と平等などを考察するなかで、他者と共に生きる倫理について自覚を深める。 	
現代の経済と国民福祉	経済社会の変容 現代の企業 市場経済のしくみ 国民所得と経済成長 金融のしくみと働き 政府の役割と財政 戦後の日本経済 産業構造の転換と国際経済環境の変化 自立した消費者への道 現代の雇用・労働問題 社会保障の役割 環境保全と循環型社会	<ul style="list-style-type: none"> 経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。 市場経済について理解する。 市場経済について理解している。 価格の働きを理解している。 政府と金融機関が経済に及ぼす働きと今日的課題を考察できる。 戦後の日本経済の変化を理解し、今日的課題である環境問題、雇用問題、消費者問題などについて関心を持ち、それらをふまえて自分の生き方、あり方を考えることができる。 	
国際社会と人類の課題	国際政治のしくみと動向 国際経済のしくみと動向 国際社会の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の課題について理解する。 国際社会における日本の役割について考察する。 	
青年期と自己形成の課題	現代社会の特質 自己形成と社会とのかかわり 哲学と人間 宗教と人間 近代科学の考え方 日本の伝統思想の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 真の豊かさとは何か多面的、総合的に考察することができる。 様々な価値観の存在を理解する。 人として生まれてきて、自分が果たす役割(存在証明)について思いを巡らすことができる。 	
ともに生きる社会をめざして	現代社会の課題	現代社会の諸課題について理解を深める。	

令和2年度シラバス

科目: 現代社会	単位: 2	学科: 生活環境科	学年: 1年
教科書: 東京書籍「現代社会」		補助教材: 東京書籍「現代社会 ワークノート」 富山県教育委員会「高校生のためのふるさと富山」	
科目の概要と目標: 現代の社会と人間についての理解を深めさせ、人間としての在り方生き方について考える基礎を養い、良識ある公民としての能力と態度を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標	
わたしたちの生きる社会	地球環境と資源・エネルギー 科学技術の発達と生命 情報化の進展と生活	地球環境問題について多面的に考察する。 医療技術の発達が生命倫理の課題をもたらしていることを理解する。 情報化の進展が生活や社会の変化に及ぼした影響を理解する。	
日本国憲法と民主政治	基本的人権の確立 世界の政治体制 日本国憲法と三つの原理 国会と立法 内閣と行政 裁判所と司法 地方自治 世論と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> 基本的人権を獲得するまでの経緯について、把握できる。 日本国憲法の基本原理を理解している。 日本の政治機構について理解し、政治に積極的に参加しようとする態度を育てる。 	
現代社会と法	法の働き 社会生活と法 司法と人権	<ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割を理解する。 人間の尊厳と平等などを考察するなかで、他者と共に生きる倫理について自覚を深める。 	
現代の経済と国民福祉	経済社会の変容 現代の企業 市場経済のしくみ 国民所得と経済成長 金融のしくみと働き 政府の役割と財政 戦後の日本経済 産業構造の転換と国際経済環境の変化 自立した消費者への道 現代の雇用・労働問題 社会保障の役割 環境保全と循環型社会	<ul style="list-style-type: none"> 経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。 市場経済について理解する。 市場経済について理解している。 価格の働きを理解している。 政府と金融機関が経済に及ぼす働きと今日的課題を考察できる。 戦後の日本経済の変化を理解し、今日的課題である環境問題、雇用問題、消費者問題などについて関心を持ち、それらをふまえて自分の生き方、あり方を考えることができる。 	
国際社会と人類の課題	国際政治のしくみと動向 国際経済のしくみと動向 国際社会の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の課題について理解する。 国際社会における日本の役割について考察する。 	
青年期と自己形成の課題	現代社会の特質 自己形成と社会とのかかわり 哲学と人間 宗教と人間 近代科学の考え方 日本の伝統思想の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 真の豊かさとは何か多面的、総合的に考察することができる。 様々な価値観の存在を理解する。 人として生まれてきて、自分が果たす役割(存在証明)について思いを巡らすことができる。 	
ともに生きる社会をめざして	現代社会の課題	現代社会の諸課題について理解を深める。	

令和2年度シラバス

単元	学習内容	到達目標
科目: 数学 I 単位: 3 学科: 普通科 学年: 1年 教科書: 数研出版「改訂版 高等学校 数学 I」 補助教材: 「改訂版 クリアー 数学 I + A」 「改訂版 クリアー 数学 I 完成ノート」 「フォーカス Z 数学 I + A」		
科目の概要と目標: 数と式, 集合と命題, 2次関数, 図形と計量およびデータの分析 について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。		
単元	学習内容	到達目標
整式の加法と減法 整式の乗法 因数分解 実数 根号を含む式の計算 不等式の性質 1次不等式 絶対値を含む方程式・不等式 命題と条件 命題と証明 関数とグラフ 2次関数のグラフ 2次関数の最大・最小 2次関数の決定 課題学習 2次方程式 2次関数のグラフとx軸の位置関係 2次不等式 三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張 正弦定理 余弦定理 正弦定理と余弦定理の応用 三角形の面積 空間図形への応用 データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差 データの相関	整式の式変形の計算練習 根号の計算・有理化 不等式の解法 絶対値 必要, 十分 背理法 定義域・値域 平方完成 グラフを書く練習 放物線のもつ性質 解の公式の利用 判別式の利用 不等式の解法 三角比の理解 定理の活用 ヒストグラム 平均値や中央値, 最頻値 四分位数, 箱ひげ図 散布図, 相関係数	多項式の整理ができる。 展開計算ができる。 色々なタイプの因数分解ができる。 根号計算が正しくできる。 1次不等式が正しく解ける。 絶対値を含む方程式、不等式を解くことができる。 条件と集合の関係を理解する。 命題を証明することができる。 放物線のグラフが正しく書ける。 グラフを用いて最大・最小が考察できる。 光が集まる仕組みについて考察することができる。 2次方程式が正しく解ける。 判別式とグラフのX軸との位置関係の関連を理解する。 2次不等式を正しく解くことができる。 三角比を理解し活用できる。 定理を用いて図形問題を解くことができる。 三角形や多角形の面積を求めることができる。 度数分布表をヒストグラムで表すことができる。 定義や意味を理解し, それらを求めることができる。 データの散らばりを比較することができる。 その意味を理解し, 公式を用いて求めることができる。 相関を考察することができる。

令和2年度シラバス

科目: 数学 I α	単位: 2(計4)	学科: 土木科	学年: 1年
教科書: 実教出版「新版 数学 I 新訂版」		補助教材: 「ステージノート数学 I」 「はぎ取り式 練習ドリル数学 I 基礎から標準編」	
<p>科目の概要と目標: 「方程式と不等式」「2次関数」について学び、計算法則や記号の意味などを正しく理解するとともに、計算力や問題解決力を伸ばすことにより、将来社会生活を送る上で必要な数学的な考え方や知識を習得する。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
整式とその加法・減法	同類項	<ul style="list-style-type: none"> 一文字に着目し同類項をまとめ、整理することができる。 	
整式の乗法	降べきの順 加法・減法 乗法	<ul style="list-style-type: none"> 多項式を降べきの順に整理できる。 多項式の加法、減法の計算ができる。 指数法則を用いて、多項式の乗法の計算ができる。 	
因数分解	式の展開 式の展開の工夫 因数分解 いろいろな因数分解	<ul style="list-style-type: none"> 展開公式を利用できる。 変形、置き換えにより、式の計算をすることができる。 因数分解の公式を利用できる。 置き換えや形整理により因数分解を行うことができる。 	
実数	有理数、循環小数 絶対値	<ul style="list-style-type: none"> 有理数と無理数、および実数について理解できる。 絶対値の意味と記号表示を理解できる。 	
根号を含む式の計算	平方根	<ul style="list-style-type: none"> 平方根の性質を理解し、計算ができる。 	
不等号と不等式 不等式の性質 不等式の性質	1次不等式	<ul style="list-style-type: none"> 理解し、数量の大小関係を式で表すことができる。 不等式のもつ性質について理解できる。 	
1次不等式	1次不等式の解法	<ul style="list-style-type: none"> 1次不等式を解くことができる。 	
関数とグラフ	連立不等式 1次関数の決定 1次関数のグラフ	<ul style="list-style-type: none"> 連立不等式の解を、数直線を用いて表示できる。 与えられた条件から1次関数を決定することができる。 一次関数のグラフを書き、グラフを利用して値域を求めることができる。 	
2次関数のグラフ	2次関数のグラフと平行移動	<ul style="list-style-type: none"> 放物線$y = ax^2$の形や軸、頂点、グラフの平行移動について理解できる。 	
2次関数の最大・最小	平方完成	<ul style="list-style-type: none"> 平方完成を利用して2次関数のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 	
2次関数の決定	最大値・最小値 2次関数の決定	<ul style="list-style-type: none"> 最大値、最小値をグラフ利用で求めることができる。 条件から2次関数を決定することができる。 	
2次関数のグラフと2次方程式	2次方程式の解法	<ul style="list-style-type: none"> 因数分解利用、解の公式利用を理解できる。 2次方程式の判別式の符号と実数解の関係を理解し利用することができる。 	
2次関数のグラフと2次不等式 課題学習	判別式D 2次不等式の解法 黄金比	<ul style="list-style-type: none"> 2次関数のグラフとX軸の共有点の個数や位置関係を、判別式の符号から判断できる。 図やグラフを利用して、2次不等式を解くことができる。 黄金比について理解し、比の値を計算したり、黄金比となる図形や作品について、身近な生活の中から見つけることができる。 	

令和2年度シラバス

科目: 数学 I β	単位: 2(計4)	学科: 土木科	学年: 1年
教科書: 実教出版「新版 数学 I 新訂版」		補助教材: 「ステージノート数学 I」 「はぎ取り式 練習ドリル数学 I 基礎から標準編」	
<p>科目の概要と目標: 図形と計量, 集合と論証, データの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
三角比 三角比の性質 三角比の拡張 正弦定理 余弦定理 三角形の面積 空間図形の計量 集合 命題と条件 逆・裏・対偶 データの整理 代表値 四分位数と四分位範囲 分散と標準偏差 相関関係	正弦・余弦・正接 定理の活用 部分集合, 共通部分, 和集合 必要条件, 十分条件 命題の逆, 裏, 対偶, 背理法 ヒストグラム 平均値, 中央値, 最頻値 四分位数, 箱ひげ図 分散, 標準偏差 散布図, 相関係数	<ul style="list-style-type: none"> ・直角三角形において、正弦・余弦・正接を求めることができる。 ・定理を用いて図形問題を解くことができる。 ・三角形や多角形の面積を求めることができる。 ・用語の定義を学び、さらに、図表示による包含関係と関連づけて理解し、適切に使うことができる。 ・対偶を利用した証明法や背理法による証明法を習得し、使用できる。 ・度数分布表をヒストグラムで表すことができる。 ・定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 ・データの散らばりを比較することができる。 ・相関を考察することができる。 	

令和2年度シラバス

単元	学習内容	到達目標
科目: 数学 I	単位: 3	学科: 生活環境科
教科書: 実教出版「新版 数学 I 新訂版」		補助教材: 「ステージノート数学 I」 「はぎ取り式 練習ドリル数学 I 基礎から標準編」
<p>科目の概要と目標: 方程式と不等式、2次関数、図形と計量、データの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。</p>		
単元	学習内容	到達目標
整式とその加法・減法	同類項	・一文字に着目し同類項をまとめ、整理することができる。
整式の乗法	降べきの順 加法・減法 乗法 式の展開 式の展開の工夫	・多項式を降べきの順に整理できる。 ・多項式の加法、減法の計算ができる。 ・指数法則を用いて、多項式の乗法の計算ができる。 ・展開公式を利用できる。 ・変形、置き換えにより、式の計算をすることができる。
因数分解	因数分解 いろいろな因数分解	・因数分解の公式を利用できる。 ・置き換えや形整理により因数分解を行うことができる。
実数	有理数、循環小数 絶対値	・有理数と無理数、および実数について理解できる。 ・絶対値の意味と記号表示を理解できる。
根号を含む式の計算	平方根	・平方根の性質を理解し、計算ができる。
不等号と不等式 不等式の性質 1次不等式	1次不等式 1次不等式の解法 連立不等式	・理解し、数量の大小関係を式で表すことができる。 ・1次不等式を解くことができる。 ・連立不等式の解を、数直線を用いて表示できる。
関数とグラフ	1次関数の決定 1次関数のグラフ	・与えられた条件から1次関数を決定することができる。 ・一次関数のグラフを書き、グラフを利用して値域を求めることができる。
2次関数のグラフ	2次関数のグラフと平行移動	・放物線 $y=ax^2$ の形や軸、頂点、グラフの平行移動について理解できる。
2次関数の最大・最小	平方完成	・平方完成を利用して2次関数のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。
2次関数の決定	最大値・最小値 2次関数の決定	・最大値、最小値をグラフ利用で求めることができる。 ・条件から2次関数を決定することができる。
2次関数のグラフと2次方程式	2次方程式の解法 判別式D	・因数分解利用、解の公式利用を理解できる。 ・2次関数のグラフとX軸の共有点の個数や位置関係を、判別式の符号から判断できる。
2次関数のグラフと2次不等式	2次不等式の解法	・図やグラフを利用して、2次不等式を解くことができる。
課題学習	黄金比	・黄金比について理解し、比の値を計算したり、黄金比となる図形や作品について、身近な生活の中から見つけることができる。
三角比	正弦・余弦・正接	・直角三角形において、正弦・余弦・正接を求めることができる。
三角比の性質		
正弦定理	定理の活用	・定理を用いて図形問題を解くことができる。
三角形の面積		・三角形や多角形の面積を求めることができる。
集合	部分集合, 共通部分, 和集合	・用語の定義を学び、さらに、図表示による包含関係と関連づけて理解し、適切に使うことができる。
命題と条件	必要条件, 十分条件	
逆・裏・対偶	命題の逆, 裏, 対偶, 背理法	・対偶を利用した証明法や背理法による証明法を習得し、使用できる。
データの整理	ヒストグラム	・度数分布表をヒストグラムで表すことができる。
代表値	平均値, 中央値, 最頻値	・定義や意味を理解し、それらを求めることができる。
四分位数と四分位範囲	四分位数, 箱ひげ図	・データの散らばりを比較することができる。
相関関係	散布図, 相関係数	・相関を考察することができる。

令和2年度シラバス

単元	学習内容	到達目標
科目:物理基礎	単位:2	学科:普通科
教科書:数研出版「改訂版 新編 物理基礎」		学年:1年
		補助教材:なし
<p>科目の概要と目標: 日常生活や社会との関連を図りながら, 物体の運動とさまざまなエネルギーへの関心を高め物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに, 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ, 科学的な見方や考え方を養う。</p>		
序 物理量の測定と扱い方		
第1編 運動とエネルギー		
第1章 物体の運動	①速度 ②加速度 ③落体の運動 (探究活動)	速度、加速度の物理量について理解する。同時に単位の作り方を理解し使えるようになる。 落体の運動が等加速度直線運動であり、運動を数式で表せることを理解する。
第2章 力と運動の法則	①力とそのはたらき ②力のつり合い ③運動の法則 ④摩擦を受ける運動 ⑤液体や気体から受ける力	重力や弾性力などさまざまな力について、その性質や表し方を理解する。 力の合成、分解の作図ができる。 運動の法則を理解する(実験)。
第3章 仕事と力学的エネルギー	①仕事 ②運動エネルギー ③位置エネルギー ④力学的エネルギーの保存 (探究活動)	仕事と仕事率の定義を理解し、「仕事の原理」の実例を通して使えるようにする。 物理量としての仕事の意味が理解できる。 仕事とエネルギーの変化の関係が理解できる。
第2編 熱とエネルギー		
第1章 熱とエネルギー	①温度と熱運動 ②熱と熱平衡 ③熱と仕事 ④エネルギーの変換と保存	人間関係に関わるエネルギー現象を理解する。 熱を粒子の運動の激しさと結びつけて理解する。 熱の移動と熱量保存則を理解する。 物質の状態変化と仕事について理解できる。
第3編 波動		
第1節 波の性質	①波と振動 ②波の表し方 ③波の重ね合わせと定常波 ④波の反射	波を特徴付ける各種量について理解する。 波に共通する基本的な性質を知る(実験)。
第2章 音	①音の速さと3要素 ②波としての音の性質 ③弦の固有振動 ④気柱の固有振動 (探究活動)	音の伝わり方と、音の3要素について理解する(実験)。 発音体の固有振動と定常波、共鳴を関係づけることが出来る(実験)。
第4編 電気		
第1章 電荷と電流	①電気の性質 ②電流と電気抵抗 ③電気とエネルギー	電気の性質について理解する。 電荷と電流について理解する。 回路の電流について理解する。
第2章 電流と磁場	①電流と磁場②交流	誘導電流と電磁波について知る。
第5編 物理学と社会		
第1編 エネルギーの利用	①エネルギーの移り変わり	様々なエネルギー資源の特徴を知り、特に太陽エネルギーと原子力エネルギーの課題について知る。
第2編 物理学が拓く世界		

令和2年度シラバス

科目: 生物基礎	単位: 2	学科: 普通科	学年: 1年
教科書: 数研出版「改訂版 生物基礎」		補助教材: リードα 生物基礎	
<p>科目の概要と目標: 生物や生物現象についての観察, 実験などを行い, 自然に対する関心や探究心を高め, 生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに, 基本的な概念や原理・法則を理解させ, 科学的な自然観を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
第1編 生物と遺伝子 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	①生物の多様性と共通性 ②エネルギーと代謝 ③光合成と呼吸 (探究活動) ①遺伝情報とDNA ②遺伝情報の発現 ③遺伝情報の分配 (探究活動)	<p>生物は多様でありながら共通性を持っていることを理解する。生物学の基本的概念の形成を図る。共通性は期限の共有に由来することを理解する。</p> <p>細胞及び生物の構造について理解する。 細胞及び生物の構造について理解したうえで, 細胞の観察を行う。生物の活動に必要なエネルギーの出入りと, 生物に必要な物質の合成や分解を理解する。呼吸と光合成の概念を理解する。また, 葉緑体やミトコンドリアの起源も理解する。</p> <p>遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について二重らせんと塩基の相補性を理解する。</p> <p>遺伝子とゲノムの関係について理解する。</p> <p>DNAが複製され分配されることにより, 遺伝情報が伝えられることを理解する。細胞分裂と関連づける。</p> <p>DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。生命現象に重要であることを理解する。</p>	
第2編 生物の体内環境の維持 第3章 生物の体内環境	①体内環境としての体液 ②腎臓と肝臓による調節 ③神経とホルモンによる調節 ④免疫 (探究活動)	<p>体内環境が保たれている仕組みを理解する。 体液成分と濃度調節を理解する。また血液凝固を理解する。</p> <p>体内環境の維持に自立神経とホルモンが関わっていることを理解する。</p> <p>血糖濃度が身近な疾患に関連していることを理解する。 免疫とそれに関わる物質や細胞の働きについて理解する。</p>	
第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生の多様性と分布	①植生とその成り立ち ②植生の遷移 ③気候とバイオーム (探究活動)	<p>陸上には様々な植生が見られ, 植生は長期的に移り変わっていくことを理解する。気温と降水量に関連づけて理解する。</p> <p>日本のバイオームを理解する。</p>	
第5章 生態系とその保全	①生態系とその成り立ち ②物質循環とエネルギーの流れ ③生態系のバランスと保全 (探究活動)	<p>生態系では, 物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解する。生態系のバランスを理解し, 生態系保全の重要性を理解する。窒素の循環も扱う。</p>	

令和2年度シラバス

科目:化学基礎	単位:2	学科:普通科	学年:2年
教科書:数研出版「改訂版 新編 化学基礎」		補助教材:数研出版 基本セレクト化学基礎	
科目の概要と目標: ・化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に果たしている役割を理解できる。 ・原子の構造及び電子配置と周期律の関係を理解できる。 ・化学反応の量的関係, 酸と塩基及び酸化還元反応の基本的な概念を理解し、日常生活に関連付けて考察できる。			
単元	学習内容	到達目標	
序編 化学と人間生活		生活の中に金属、プラスチック、洗剤等の製造や再利用で科学技術が利用されていることを理解する。	
第1編 物質の構成と化学結合	(1)物質の構成	物質の状態変化と熱運動、絶対温度の関係を理解する。 物質の分離方法(ろ過等)を理解する。 元素の確認(炎色反応等)を理解する。 粒子の熱運動と絶対温度を理解する。	
	(2)物質の構成粒子	元素の種類・原子の構造を理解する。 代表的な典型元素の電子配置を理解する。 イオン化エネルギーの変化等の周期律について理解する。	
	(3)粒子の結合	イオンの生成について理解する。 分子の性質を理解し、共有結合、極性、配位結合を関連づけて考えることができる。 金属の性質を理解し、その用途を知る。	
第2編 物質の変化	(1)物質と化学反応式	物質と粒子数、質量、気体の体積、モル濃度との関係を理解する。 化学反応式とその量的関係について理解する。	
	(2)酸と塩基の反応	酸・塩基の性質と種類を理解する。 酸、塩基の強弱と電離度の大小との関係を理解する。 水素イオン濃度とpHとの関係を理解する。 中和反応の量的な関係を理解する。 塩の性質について理解する。	
	(3)酸化還元反応	酸化・還元反応を電子の動きで理解する。 酸化剤、還元剤について理解する。 電池や電気分解のしくみを理解する。	

令和2年度シラバス

科目:化学基礎	単位:3	学科:土木科	学年:1年
教科書:第一学習社「高等学校 改訂 新化学基礎」		補助教材:第一学習社「ネオパルノート化学基礎」	
<p>科目の概要と目標: 基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的なものの見方・考え方を身につける。 自然に対する関心や探求心を高める。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
序編 科学と人間生活		<p>生活の中に金属、プラスチック、洗剤等の製造や再利用で科学技術が利用されていることを理解する。</p> <p>物質の状態変化と熱運動、絶対温度の関係を理解する。</p>	
1. 物質の構成	(1)物質とその構成要素	<p>物質の分離方法(ろ過等)を理解する。 元素の確認(炎色反応等)を理解する。 粒子の熱運動と絶対温度を理解する。</p>	
	(2)物質と化学結合	<p>元素の種類・原子の構造を理解する。 代表的な典型元素の電子配置を理解する。 イオン化エネルギーの変化等の周期律について理解する。 イオンの生成について理解する。 金属の性質を理解し、その用途を知る。 分子の性質を理解し、共有結合、極性、配位結合を関連づけて考えることができる。</p>	
	(3)物質と化学反応式	<p>物質と粒子数、質量、気体の体積、モル濃度との関係を理解する。 化学反応式とその量的関係について理解する。</p>	
2. 物質の変化	(1)酸・塩基とその反応	<p>酸・塩基の性質と種類を理解する。 酸、塩基の強弱と電離度の大小との関係を理解する。 水素イオン濃度とpHとの関係を理解する。 中和反応の量的な関係を理解する。 塩の性質について理解する。</p>	
	(2)酸化還元反応	<p>酸化・還元反応を電子の動きで理解する。 酸化剤、還元剤について理解する。 電池や電気分解のしくみを理解する。</p>	

令和2年度シラバス

科目:物理基礎	単位:2	学科:土木科	学年:2年
教科書:第一学習社「高等学校 改訂 新物理基礎」		補助教材:なし	
<p>科目の概要と目標: 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動とさまざまなエネルギーへの関心を高め物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
序 物理量の測定と扱い方			
第1編 運動とエネルギー			
第1章 物体の運動	①速度 ②加速度 ③落体の運動 (探究活動)	速度、加速度の物理量について理解する。同時に単位の作り方を理解し使えるようになる。 落体の運動が等加速度直線運動であり、運動を数式で表せることを理解する。	
第2章 力と運動の法則	①力とそのはたらき ②力のつり合い ③運動の法則 ④摩擦を受ける運動 ⑤液体や気体から受ける力	重力や弾性力などさまざまな力について、その性質や表し方を理解する。 力の合成、分解の作図ができる。 運動の法則を理解する(実験)。	
第3章 仕事と力学的エネルギー	①仕事 ②運動エネルギー ③位置エネルギー ④力学的エネルギーの保存 (探究活動)	仕事と仕事率の定義を理解し、「仕事の原理」を実例を通して使えるようにする。 物理量としての仕事の意味が理解できる。 仕事とエネルギーの変化の関係が理解できる。	
第2編 熱とエネルギー			
第1章 熱とエネルギー	①温度と熱運動 ②熱と熱平衡 ③熱と仕事 ④エネルギーの変換と保存	人間関係に関わるエネルギー現象を理解する。 熱を粒子の運動の激しさと結びつけて理解する。 熱の移動と熱量保存則を理解する。 物質の状態変化と仕事について理解できる。	
第3編 波動			
第1節 波の性質	①波と振動 ②波の表し方 ③波の重ね合わせと定常波 ④波の反射	波を特徴付ける各種量について理解する。 波に共通する基本的な性質を知る(実験)。	
第2章 音	①音の速さと3要素 ②波としての音の性質 ③弦の固有振動 ④気柱の固有振動 (探究活動)	音の伝わり方と、音の3要素について理解する(実験)。 発音体の固有振動と定常波、共鳴を関係づけることが出来る(実験)。	
第4編 電気			
第1章 電荷と電流	①電気の性質 ②電流と電気抵抗 ③電気とエネルギー	電気の性質について理解する。 電荷と電流について理解する。 回路の電流について理解する。	
第2章 電流と磁場	①電流と磁場②交流	誘導電流と電磁波について知る。	
第5編 物理学と社会			
第1編 エネルギーの利用	①エネルギーの移り変わり	様々なエネルギー資源の特徴を知り、特に太陽エネルギーと原子力エネルギーの課題について知る。	
第2編 物理学が拓く世界			

令和2年度シラバス

科目: 生物基礎	単位: 2	学科: 生活環境科	学年: 1年
教科書: 数研出版「改訂版 新編 生物基礎」		補助教材: リードLightノート生物基礎	
<p>科目の概要と目標: 生物や生物現象についての観察, 実験などを行い, 自然に対する関心や探究心を高め, 生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに, 基本的な概念や原理・法則を理解させ, 科学的な自然観を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
第1編 生物と遺伝子 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	①生物の多様性と共通性 ②エネルギーと代謝 ③光合成と呼吸 ①遺伝情報とDNA ②遺伝情報の発現 ③遺伝情報の分配	<p>生物は多様でありながら共通性を持っていることを理解する。生物学の基本的概念の形成を図る。共通性は期限の共有に由来することを理解する。</p> <p>細胞及び生物の構造について理解する。 細胞及び生物の構造について理解したうえで, 細胞の観察を行う。生物の活動に必要なエネルギーの出入りと, 生物に必要な物質の合成や分解を理解する。呼吸と光合成の概念を理解する。また, 葉緑体やミトコンドリアの起源も理解する。</p> <p>遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について二重らせんと塩基の相補性を理解する。 遺伝子とゲノムの関係について理解する。</p> <p>DNAが複製され分配されることにより, 遺伝情報が伝えられることを理解する。細胞分裂と関連づける。 DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。生命現象に重要であることを理解する。</p>	
第2編 生物の体内環境の維持 第3章 生物の体内環境	①体内環境としての体液 ②腎臓と肝臓による調節 ③神経とホルモンによる調節 ④免疫	<p>体内環境が保たれている仕組みを理解する。 体液成分と濃度調節を理解する。また血液凝固を理解する。 体内環境の維持に自立神経とホルモンが関わっていることを理解する。 血糖濃度が身近な疾患に関連していることを理解する。 免疫とそれに関わる物質や細胞の働きについて理解する。</p>	
第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生の多様性と分布	①植生とその成り立ち ②植生の移り変わり ③気候とバイオーム	<p>陸上には様々な植生が見られ, 植生は長期的に移り変わっていくことを理解する。気温と降水量に関連づけて理解する。 日本のバイオーム理解する。</p>	
第5章 生態系とその保全	①生態系とその成り立ち ②物質循環とエネルギーの流れ ③生態系のバランスと保全	<p>生態系では, 物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解する。生態系のバランスを理科し, 生態系保全の重要性を理解する。窒素の循環も扱う。</p>	

令和2年度シラバス

科目:化学基礎	単位:3	学科:生活環境	学年:2年
教科書:第一学習社「高等学校 改訂 新化学基礎」		補助教材:第一学習社「ネオパルノート化学基礎」	
科目の概要と目標: 基本的な概念や原理法則を理解し、科学的なものの見方考え方を身につける。 自然に対する関心や探求心を高める。			
単元	学習内容	到達目標	
序編 科学と人間生活		生活の中に金属、プラスチック、洗剤等の製造や再利用で科学技術が利用されていることを理解する。 物質の状態変化と熱運動、絶対温度の関係を理解する。	
1. 物質の構成	(1)物質とその構成要素	物質の分離方法(ろ過等)を理解する。 元素の確認(炎色反応等)を理解する。 粒子の熱運動と絶対温度を理解する。	
	(2)物質と化学結合	元素の種類原子の構造を理解する。 代表的な典型元素の電子配置を理解する。 イオン化エネルギーの変化等の周期律について理解する。 イオンの生成について理解する。 金属の性質を理解し、その用途を知る。 分子の性質を理解し、共有結合、極性、配位結合を関連づけて考えることができる。	
	(3)物質と化学反応式	物質と粒子数、質量、気体の体積、モル濃度との関係を理解する。 化学反応式とその量的関係について理解する。	
2. 物質の変化	(1)酸塩基とその反応	酸塩基の性質と種類を理解する。 酸、塩基の強弱と電離度の大小との関係を理解する。 水素イオン濃度とpHとの関係を理解する。 中和反応の量的な関係を理解する。 塩の性質について理解する。	
	(2)酸化還元反応	酸化還元反応を電子の動きで理解する。 酸化剤、還元剤について理解する。 電池や電気分解のしくみを理解する。	